

平成20年度第4回宮前区区民会議

平成20年度 第4回 宮前区区民会議

1 日 時 平成21年2月12日（木）午後6時

2 場 所 宮前区役所4階 大会議室

3 出席者

(1) 委員 永野委員長、川西副委員長、宇賀神委員、河井委員、川島委員
久保委員、佐藤委員、鈴木（和）委員、鈴木（恵）委員、高木委員
田邊委員、恒川委員、松井委員、目代委員、吉田委員、渡辺委員

(2) 参与 太田参与、福田参与、持田参与

(3) 事務局 区長、副区長、企画課長、企画課主査、地域振興課主査、
こども支援室長

4 議 題

(1) 第1期宮前区区民会議からの提案に対する取組状況について（公開）

(2) 各部会の審議状況について（公開）

ア 公園・地域づくり部会

イ 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会

(3) 区民会議フォーラムについて（公開）

(4) 中間報告について（公開）

(5) 報告

平成21年度宮前区協働推進事業予算（案）及び区の課題解決事業予算（案）について（公開）

(6) その他（公開）

5 傍聴者数 0人

午後6時02分開会

司会（岩澤） 皆様、こんばんは。定刻を若干過ぎましたけれども、ただいまより平成20年度第4回宮前区区民会議を開催させていただきます。

本日の司会進行を務めます、私、副区長の岩澤でございます。どうぞよろしく願い申し上げます。恐縮ですけれども、ここで着席をさせていただきます。

それでは、会議に先立ちまして少し事務連絡をさせていただきたいと存じます。本日の会議開催に当たりまして、この会議は川崎市審議会等の会議の公開に関する条例に基づきまして公開とさせていただいております。したがって、傍聴者、報道機関等の取材を許可しておりますので、あらかじめご了承くださいと存じます。

また、会議録の作成に当たりましては2名の速記者を同席させていただいております。そして、本日発言をいただいた方々につきましては、後日その内容につきまして確認をさせていただきます。なお、その後、議事録につきましては、宮前区役所のホ

ームページに掲載をさせていただきますのでご了承いただきたいと思います。

また、本日の傍聴者の方々につきましては、入り口並びに壁に貼付してございます会議等に係る遵守事項をお守りいただきたいと思います。また、本日の会議に関するアンケート用紙を事前にお配りしておりますので、お帰りの際にご提出をあわせてお願いいたします。

次に、本日の委員、参与の出欠状況についてご報告をさせていただきます。本日、事前に欠席される旨のご連絡をいただいております方々は次のとおりでございます。区民会議委員につきましては、前田委員、福本委員、吉岡委員、千葉委員の4名でございます。参与につきましては、矢沢参与、佐々木参与、石田参与、石川参与、織田参与の5名からご連絡をいただいております。なお、山田参与並びに持田参与につきましては、所用により若干会場に赴くのがおくれるということと、またあわせて本日ご出席の川島委員につきましては、所用のため途中で退席される旨を事前にご連絡いただいておりますので、ご報告をさせていただきます。

次に、ここで第3回の区民会議全体会議でもお知らせをさせていただきましたが、委員の交代につきましてご紹介させていただきます。子育て・教育の分野で、宮前区こども支援関係者連絡会から推薦ということで、久保浩子委員が昨年の12月から区民会議委員に就任をいただいております。本日は区民会議全体会の際は初めてということもございますので、久保委員から簡単に自己紹介をお願いしたいと思います。久保委員、よろしくお願いいたします。

久保委員 今、紹介をいただきました久保と申します。よろしくお願いいたします。

簡単に自己紹介させていただきますと、私自身は中学2年、小学4年、小学1年の3人の子どもがおります親です。中学2年の長男が1歳のころから自主保育という活動をやっております、宮前区のまさに公園を拠点として、3人の息子たちなんですけれども、小学校に上がるまでは宮前区の公園で親たち仲間と一緒に子育てをしてきました。私にとっては、本当に宮前区の公園が子育ての場であり、子育て、親育ちの場であったので、今回区民会議に参加させていただきまして、特に公園部会ということで、私のそういった経験が生かせるように頑張りたいなと思っております。

あとほかには、宮前市民館で行われていますみやまえ子育てフェスタについても、数年、企画委員として行ってきまして、そこで培ったいろいろな子育てに関するつながりの中で、私1人ではなくて、いろいろな方との中で子育て、子育て支援について考えましたので、そのような当事者に一番近い立場からこの場で発言できたり、力になっていきたいなと思っております。よろしくお願いいたします。(拍手)

司会(岩澤) ありがとうございます。

それでは次に、皆様のお手元に配付をさせていただきます資料の確認をさせていただきます。

まず、本日の会議次第、A4判1枚物です。

次に、別紙1、座席表、A4判1枚。別紙2、宮前区区民会議委員、参与名簿、A4判1枚でございます。

次に、議事資料でございます。初めに、資料1「第1期宮前区区民会議からの提案に対する取組状況」。こちらはA3とA4判が混在しておりますけれども、資料1-1から5まで5枚ございます。

次に、資料2、こちらも混在していますが、「宮前区区民会議公園・地域づくり部会検討経過」、資料2-1から資料2-4まで5枚物でございます。

次に、資料3「宮前区区民会議宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会検討経過」、資料3-1から資料3-4までの5枚、こちらもA3とA4が混在しています。

続きまして、資料4「平成20年度宮前区区民会議フォーラム開催概要（案）」ということで、こちらはA4判2枚物でございます。

次に、資料5「第2期宮前区区民会議中間報告書構成案」、A4判1枚でございます。

次に、資料6「平成21年度宮前区協働推進事業予算（案）」及び「宮前区・区の課題解決事業予算（案）」ということで、A4判2枚物でございます。

資料としては最後になります。資料7「第2期宮前区区民会議今後のスケジュール（案）」A3判の1枚物でございます。

このほかに、参考資料としましてお手元に7点ばかり置かせていただいています。

1つ目は、「神木本町お茶のみ会」のチラシでございます。

2点目が、「やってみよう!! 発災対応型防災訓練」という冊子でございます。

3番目が、「まちづくり広場♥みやまえ」のチラシ。

4点目が、「有馬・東有馬地区コミュニティバス運行実験」のチラシ。

5点目が、「宮前区食育フォーラム」のチラシ。

6点目が、「平成21年度川崎市予算案について」の冊子。

最後7点目ですけれども、封筒に3月15日に実施をいたします区民会議フォーラムのチラシを入れてございますので、そちらを配付させていただいております。

点数的にはちょっと多いんですが、以上が本日の皆様のお手元に置かせていただいています資料とチラシでございます。よろしいでしょうか。落丁等がございましたら挙手をお願いします。

資料が調ったという中で、それではこれより会議に入らせていただきたいと存じます。では、お手元の進行に従いまして会議を進めさせていただきます。

1 開 会

司会（岩澤） 初めに、会議の開催に当たりまして、区民会議の事務局を代表しまして、区長の松下よりごあいさつを述べたいと思います。区長、よろしくお願い申し上げます。

区長 皆さん、こんばんは。区長の松下でございます。本日は、大変お忙しいところ、今年度第4回目の宮前区区民会議にお集まりいただきまして、大変ありがとうございます。

今年度から始まった第2期区民会議も第4回目を迎えて、いよいよ折り返し点へ差しかかっていると。この間、公園・地域づくり部会は7回、宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会は6回という月1回のペースで精力的に会議を重ねてこられました。議論も大分煮詰まったということを経理から聞いております。

本日は、第2期区民会議前半の集大成ということで、両専門部会長からの審議状況の報告をもとに積極的にご議論をいただき、3月に予定されております区民会議フォーラムにつなげていただければと思います。

また、おととい10日に、平成21年度予算案について市長が記者会見を行い、先日の新聞にはその概要が掲載されたところでございますが、本日は、その中から宮前区役所関連としまして、来年度の協働推進事業と区課題事業の予算についてご説明させていただきます。予算案の策定に当たりましては、区民会議からのご提案を常に念頭に置きながら進めてきたところでございますが、第2期区民会議から課題解決策のご提案をいただいた後には、第1期のときと同じように、経費が必要なものについては、区役所としましても積極的に予算化し、区民の皆さんとともに地域の課題解決を図っていききたい、より魅力ある宮前区にしていきたいと考えております。

それでは、本日はこれから議事が盛りだくさんではございますけれども、積極的なご討議をお願いいたしまして、冒頭のごあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

司会（岩澤） ありがとうございます。

それでは、ただいまからの進行は委員長にお願いをしたいと思います。永野委員長、よろしくどうぞお願いいたします。

2 議 事

永野委員長 皆さん、こんばんは。20年度最後になります第4回の区民会議でございます。第2期区民会議は21年度末まで、あと1年ございますのでちょうど中間点でございます。公園・地域づくり部会、宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会とも、活発なご議論をいただきまして、調査、審議の段階から解決策へ向けての具体的な提案

の方向性を見出す段階へ入ろうとしております。この3月には区長への中間報告をまとめたいというのも本日の議事の一つになっております。猫の首に鈴をつけたらよいではないかという「ネズミの会議」の寓話がございますけれども、そのような実現不可能な解決策にならないよう、区民みんなで取り組める解決策を目指して、今後も議論を進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、ここからは私が進行役を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

(1) 第1期宮前区区民会議からの提案に対する取組状況について

永野委員長 初めに、議事(1)第1期宮前区区民会議からの提案に対する取組状況についてでございます。初めに、事務局から説明をいただきたいと思っております。その後で、皆様から地域での取り組みについてのご紹介をいただきたいと思っております。それでは、事務局、よろしくお願いいたします。

事務局(中山) 区役所企画課の中山でございます。資料1の高齢者福祉、子育て支援、地域コミュニティに関する区民会議からの提案に対する取り組み状況につきましては私から、右方の下にあります地域防災につきましては、地域振興課の主査から説明をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。着席して説明させていただきます。

まず、この資料1でございますけれども、昨年の第3回区民会議、11月16日以降に新たに取り組みの進捗があったものについてのみ記載をさせていただいておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、左方の高齢者福祉、18年度に提案のあったものについての取り組み状況でございますけれども、提案①「ご近所サークルの形成」につきましては、私のまちなすこやか活動の平成20年度合同研修会が開催されたということで、ことしの1月26日「地域を守るネットワークづくり」というテーマで、この大会議室で開催され、講師は区民会議の委員でもございます鈴木恵子委員で、130名の参加があったということでございます。

続きまして、提案②「地域ぐるみの散歩活動など実施」についてでございますけれども、土橋第7公園と野川中耕地公園で新たに公園体操の取り組みが開始されたということで、これで区内28会場で実施されているという状況になっております。あくまで区役所で把握している数でございますけれども、2年前の当初から比べると、3倍程度にふえたのかなというところでございます。

もう1点、公園体操交流会を2月26日に市民館で開催をする予定で、それぞれの活動内容に関する情報交換ですとか、オリジナル体操の発表をそこで行う予定ということでございます。

続きまして、提案④「高齢者の学校給食体験の実施」で、8月末から65歳以上の方に対して「暮らしの元気度チェック」を郵送して、8月から9月にかけての送付の件数は5700名程度、返送がその半分以上52.9%ということで、返送をいただいた方の中からご本人のご希望ですとか状況に応じて、介護予防教室などに参加をいただいているという状況でございます。

続きまして、提案⑥「団塊の世代による高齢者福祉のサポート」でございますけれども、これは先月1月25日に宮前区役所・市民館の主催によって「大人の文化祭inみやまえ」を開催しております、皆さんご存じの中村敦夫さんに特別講演をいただいて、500名程度の参加ということで、ミニコンサートですとか一日体験教室を実施しております。

続きまして、提案⑧「市営住宅などにおけるひとり暮らし高齢者の見守り」については、ひとり暮らし等高齢者の見守り事業ということで、これは全市で行われているものですが、各地区の民生委員さんをお願いをしまして、9月から生活状況などの聞き取り調査を行っているということで、12月現在、対象は4000ちょっとの方に対して3800名程度調査が終了しているということでございます。

続きまして、右側に移っていただきまして、子育て支援。これも18年度提案のものでございます。提案②「町内会組織等を利用した効果的で効率的な地域子育て情報の発信」で、「子育てかわら版」第12号を11月末に町内会へ回覧を発行しているということでございます。

続きまして、提案⑤「子育て支援センターの拡充」。土曜日の開所につきまして、11月29日の土曜日、地域子育て支援センターすがお、さぎぬまで実施されまして、大人の方117名、子ども方117名の参加があったということです。

続きまして、提案⑧「子育て関連支援組織による協議会（ネットワーク）の立上げと運営」に関しましては、宮前区こども支援関係者連絡会の実務者会議が12月に、運営委員の会議を1月13日にそれぞれ開催しまして、課題等の意見交換が行われたということでございます。

続きまして、提案⑨「地域などへの出前講座の実施」で、平成20年度「親と子の子育て応援セミナー」を11月と12月にそれぞれ1回実施しているということで、実施状況はその表にございますとおり、それぞれ二十四、五組、50名程度の参加をいただいているということでございます。

その次の下の表でございますけれども、出前講座を実施してまいりまして、子育て支援センターすがおとさぎぬまで、それぞれ11月と12月に、内容についてはそこにございますように、乳幼児の睡眠と生活リズムについてと、事故予防についてという内容で開催をしまして、それぞれの参加者はそこにあるとおり14名、22名の方の参加をいただいております。

続きまして、左の下のほうでございますけれども、地域コミュニティ、19年度提案のものでございますけれども、提案①「小学校区単位で地域の特徴を活かしたコミュニティ促進」についてでございます。

初めに、商店街と連携した地域コミュニティ促進事業につきましては、去年は鷺沼の町内会さんと協力をいたしましてエコバッグづくりを実施いたしましたけれども、ことしに入りまして、蔵敷商店会さんとの協働によりまして、ご存じの方もいらっしゃると思いますが、「オオカミの護符」の上映会の開催を決定しました。開催日時は3月18日水曜日、1回目がお昼の時間帯2時から4時、2回目が夜間で午後6時から8時の2回を予定しております。場所は蔵敷の交差点、セレサ川崎菅生支店の会議室をお借りしまして、1回70名程度の定員で実施するというものでございます。

続きまして、地域安全マップインストラクター講座の開催ですけれども、これは先日終了いたしまして、2月5日と2月8日、1部、2部という構成で、区役所と地域教育会議さん等との連携の中で実施をされまして、2月5日につきましては84名の参加、2月8日につきましては47名の参加があったということでございます。場所は市民館、区役所等で行われたということでございます。委員さんの中にも、このインストラクター講座に参加された方もいらっしゃるかと思いますので、後ほどもしお時間があれば感想等をお願いできればと思っております。

続きまして、提案②「『地域のたまり場』の創出」でございますけれども、これは21年度の課題事業、これは後ほどまた説明がありますけれども、商店街と連携した地域コミュニティ促進事業の中で、商店街の中に地域のたまり場、地域交流スペースといったものを鷺沼地区で実施する方向で現在調整をしております。先ほど高齢者福祉のほうもそうでしたけれども、「ご近所サークルの形成」等の取り組みとも連動しますが、本日お手元に神木本町お茶のみ会のチラシがございますけれども、そうした取り組みもご近所サークルの形成なり、地域のたまり場の創出といったものの実際の実現化の一つかなとは思っておりますので、そういったものもこれからご紹介いただければと思っております。

続きまして、提案③「『地域のつなぎ手』の育成」についてでございますが、これは現在、シニア世代に向けて講座を開催しております、1月と2月——2月は来週ですけれども——あと3月に、3回連続の講座で、トータルで参加をいただいて講座を開催するというものですが、現在11名の参加をいただきまして、来週第2回目が行われるということで、もし委員さんでもご興味がある方がいらっしゃれば、見学等お申し出いただければできますので、よろしくお願いをしたいと思います。

それでは、私からは以上です。地域防災につきましては、地域振興課担当主査からご説明させていただきます。よろしくお願いたします。

事務局（西村） 地域振興課の西村と申します。よろしくお願いたします。

19年度提案の地域防災について、提案①「（仮称）宮前区版「みんなでやろう防災対策」の作成」ということで、防災ニュースでございますけれども、まちづくり協議会と協働で編集しております。第1号につきましては8月28日、第2号につきましては11月21日、第3号につきましては2月25日を予定しております。内容としましては防災フェアの特集号ということで予定しております。この防災ニュースにつきましては7000部発行しております。各町内会等で回覧しております。原本を持ってきましたが、こういったものをお配りしますけれども、今のところ1号、2号はオレンジ色なんですけれども、次回以降は各色を変えてわかりやすく発行していきたいと思っております。

2番目、防災対策指導として、防災ワンポイント豆知識（A3判）（別紙）、資料1-4をごらんいただきたいと思うんですけれども、そちらのほうを今回新たに作成しまして、1月20日行われました防災フェアにおきまして、宮前市民館、宮前平公園両会場において、来た方に、啓発物と一緒に配布しております。その内容につきましては、災害時におきます情報等の収集手段と最低限の災害の心得、備蓄品・非常持出品のチェックリストなどを家庭内でわかりやすく掲示してもらうようにA3にまとめた資料でございます。また、大人の方から、今回、宮前平公園では子どもの方も参加しておりますので、わかりやすいような大きな文字で掲載しているのも特徴としてございます。

続きまして、3番目、防災フェアでございますけれども、平成21年1月20日の火曜日、朝の10時から15時の時間帯に、宮前市民館と宮前平公園の2カ所に分かれましてそれぞれ開催させていただきました。内容につきましては、市民館の1階大会議室におきまして、企業4社、公社1社、市まちづくり局の計6団体によります展示、実演等を行っております。

企業としましては、オール東京ガス エネスタ鷺沼/株式会社ソネットにつきましては地震対応ガス器具の展示、株式会社オガサワラにつきましては浄水器付きの自転車の展示、株式会社サトーホームでは木造住宅の模型によります耐震実験、東京電力株式会社川崎支社におきましては、地震対応型の電源遮断器の展示をしていただきました。そして、市のまちづくり局の建築監察課のほうでは耐震相談という形で、展示と実演をさせていただきます。130名の方々にお願いいたしました。

次に、同じ市民館の3階の視聴覚室におきまして、午前中、10時から12時までの約2時間、市の総務局の危機管理室におきまして、ぼうさい出前講座、地域の防災まちづくりを行いまして34名の方にご来場いただきました。また、引き続き同じ会場におきまして、午後1時から3時までの間、松下区長や今回の共催でございますまちづくり協議会の土方部会長さんのあいさつをいただいた後、宮前区の地震被害シミュレーションの講座を株式会社マヌ都市建築研究所の神谷秀美さんによります講演を行いま

して、区内の地震被害のイメージや住宅タイプ別の留意点、また家屋の倒壊率や延焼状況などのシミュレーションを見ていただいて、好評を得ております。

市民救命士養成講座ですけれども、これにつきましては事前申し込みという形をとらせていただいて、午後1時から4時にかけて市民館4階の第4会議室で行いました。14名の方に事前申し込みしていただいて、参加していただいております。もう一会場の宮前平公園におきましては、初期消火や煙体験、起震車体験、ちびっ子消防服着用体験などをしていただきまして、午前中は宮前平保育園の80名の子どもさんに来ていただいて、あいさつをいただいた後、消防音楽隊の音楽に合わせて体験をしていただいております。また、保育園の後に続きまして、隣接します富士見台小学校4年生の児童約190名の方に会場にお越しいただいて、同じような体験をしていただいております。

そして午後は、地元の町内会やその他父兄様を中心に243名の方にご来場いただきまして、公園のほうではおかげさまで500名を超える513名の方にお越しただけまして、市民館と宮前平公園と合わせますと1日で延べ729名の多くの方々にご来場いただきました。ありがとうございました。

続きまして、提案②「ぼうさい出前講座の拡充」でございますけれども、これにつきましては野川こども文化センターを初めとしまして、6カ所の赤ちゃん広場に職員が出向きまして呼びかけをしてございます。また、保育園長会や子ども安全・安心協議会、子育てフェスタ実行委員会等でも呼びかけを行っているところでございます。なお、12月1日に保育園・幼稚園・小学校代表者連絡会に職員が出向きまして、ぼうさい出前講座の広報を実施しております。

また、先ほど提案①で説明しました防災フェアにおきまして、ぼうさい出前講座のこのような両面のチラシを啓発物と一緒に同封しまして、公園や市民館の両会場でも配布してございます。また、防災推進員の養成研修、提案③で述べさせていただきますが、1月31日、2月1日に行われたものにつきましても、同じくこの出前講座の申込書案内を参加された方々にお配りしている次第でございます。

最後に、提案③「(仮称)宮前区防災推進員の育成」ということで、詳しくは資料1-5を参照いただきたいと思います。この日は土日の2日間にもかかわらず、たくさんの方にお越しいただきまして本当に感謝申し上げます。1日目の内容につきましては、主催者あいさつということで、行政代表として松下区長、そして宮前区自主防災組織連絡協議会の代表としまして宇賀神会長のごあいさつをいただいた後、防災推進員の役割ということで、地域振興課の小松主幹の説明、そして過去の自然災害に学ぶということで財団法人市民防災研究所の伊藤先生によります「過去の自然災害が教えてくれたこと」の研修を受けまして、午後は株式会社防災都市計画研究所長の吉川先生の「わが家の防災と自主防災組織」ということで、主に阪神・淡路大震災のビデ

オ映像等を皆さんに見ていただきながら研修を行わせていただきました。

翌2日目、2月1日日曜日につきましては、朝10時から地域防災の啓発手法を学ぶということで、財団法人市民防災研究所の細川先生によります「地域で実践できる防災事例に学ぶ」という講義を受けた後、午後は、ちょっと皆さんはゲーム体験できなくて申しわけないんですが、こちらにあります防災ゲーム「ぼうさい駅伝」を参加者の方に実際ゲームで体験していただいて、防災を体験してもらう形をとらせていただきました。

その後アンケート等を記入して、まとめを行いまして、最後に修了証書の授与と、こちらに持っています登録証をご参加いただいた方にお配りしております。なお、参加された方につきましては、自主防災組織が43名、第1期の区民会議委員様が6名、そしてその他市の防災インストラクターが2名ということで、計51名の方々にご参加いただきまして、本当にありがとうございました。ご協力いただいた関係者、参加者に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。以上でございます。

永野委員長 ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、何かご意見がございましたらお願いいたします。また、地域での取り組みについて、自主的な取り組みなどございましたらご紹介をお願いいたします。

吉田委員 地域のたまり場というところで、土橋なんですけど、おしゃべりサロンというのを去年の9月ごろから毎月第1水曜日の午後からやっておるんです。大体十四、五名、これは一応土橋の老人会が立ち上げたんですが、実際は、広くどなたでも来ていいということでご案内して、地域の人たちが来てもらもろのおしゃべりをしている。高齢者対象なんですけれども、そんなことをちょっとやっております。

渡辺委員 神木本町お茶のみ会の件で報告させていただきます。こういう寒い時期、引きこもっている方にお茶のみ会へ出ていただくには、やはり行けばおもしろいとか、ためになるとか、よかったという印象を何か持っていただかないといけないということで、民生委員さんとか地域包括支援センターの皆さんに考えていただきまして、1月は口腔ケアについてのお話を、保健センターから歯科衛生士さんに来ていただいてやりました。

年をとってくると誤嚥というんですか、気管のほうに食べ物が入っちゃうということが多くなるということで、保険センターの方から誤嚥防止の嚥下体操や口腔ケアについて、地域包括センターのほうで、誤嚥する人の食事があるんですね。ムース状の非常にやわらかい、のどごしのいい食べ物で、それをいろいろ試食させていただきました。誤嚥障害になるとこういうものしか食べられないと、逆に皆さん実感したような次第です。とても評判がよろしかったので、そういうことが徐々に伝わっていくといいなと思っています。

ちなみに、今月は振り込め詐欺防止の出前講座で、くらし安全指導員による寸劇を

予定しております。前回報告させていただいたときも、食事会ですとか、いろいろお知恵をいただいておりますが、少しでもおもしろい、行ってよかったというお茶のみ会になればと願っております。

永野委員長 ありがとうございます。おしゃべりサロン、お茶のみ会ですね。そのほかの地域……。

鈴木（恵）委員 おしゃべりサロン関係なんですけれども、今、市民館の菅生分館で、高齢者を地域で見守るネットワークづくりということで、5回シリーズの講座が開かれております。そこでも、やはり菅生3丁目町会を中心にしたマップから地域の拠点をつくるといって今勉強会をやっていますけれども、拠点が既に5カ所新しくできることになっております。

実は、川崎市の高齢者保健福祉計画が策定されましたけれども、その中の大きな目玉が地域のネットワークづくりということになっております。地域ネットワーク分科会というのが川崎市の高齢者計画の中にあるんですが、そのモデル地区として、野川を中心としたネットワークだったんですが、それがどうやって宮前区内に広がっていくかというやり方が川崎市のモデルとして取り上げられておりますので、宮前区の広がり川崎市のモデルになっているのでうれしいと思います。

永野委員長 ありがとうございます。そのほか。

恒川委員 地域の担い手の育成ということで、シニア世代のコーディネーターのあれがありますが、その出前活動ということでご理解いただきたいんですが、今、市民館で「シニアライフを生き生きと～シニアが地域で活躍するために～」という8回講座を実施中です。鈴木恵子さん13日にお話をいただくことになっています。

びっくりしたのは、これを市民館が広報したら電話受け付けが10分間で満杯になっちゃった。当初予定が20名であったのが、急遽30名にふやして、なおかつ断ったのが実態でございます。いかにシニア世代の方が地域とかかわる、あるいは自分の健康管理を考えるかという意味で、物すごく関心があるなど。引き続き、4月以降もまた市民館と一緒に検討していきたい。企画委員として、シニアアドバイザーが市民館と相談をしながらこの企画をつくったという意味でご報告させていただきます。

永野委員長 ありがとうございます。

久保委員 地域防災のほうで、提案②のところ出前講座の拡充とあったんですが、赤ちゃん広場や乳幼児の親子連れに声かけをしたということなんですが、実際には何件か依頼があったのでしょうか。

事務局（西村） 今の質問についてでございますけれども、前回の区民会議におきまして、提案②のぼうさい出前講座の拡充につきまして、6カ所の赤ちゃん広場のほうに実際に小松主幹等を含めた職員が出向いて、先ほども見せましたけれども、こういった出前講座の案内等を配りまして、実際の出前講座をさせていただいて、出席いただ

いた方にできるだけ広く伝えていただいて、また出前講座を求めるところがあればこちらの地域振興課まで声をかけてほしいという呼びかけを行わせていただいた次第でございます。

久保委員 多分、私もいたと思うんですけれども、すごくいい試みだったなと思ったんですが、何人かのグループで申し込めるよという話だったと思うんですが、もうちょっと積極的に若いお母さんたちに声かけしてもいいかなという形で、赤ちゃん広場とかそういうサロンでも計画を立ててしまうとか、そういうふうに積極的に働きかけをしたほうが伝わるかなと。もったいないなというのがすごくありましたので、ぜひそういうところでやっていただけたらなと思いますし、協力もしたいなと思いますので、よろしくお願いします。

事務局（西村） せっかくのご意見をいただきましたので、うちのほうとしても幅広くどんどん積極的にPRしていきたいと思っております。今のお言葉をいただきまして、さらに自信を持って各施設等に働きかけを行いたいと思いますので、皆様のご協力よろしくをお願いします。

川西副委員長 今の防災の方に1つだけちょっと申し上げたいんですけれども、すごくいい取り組みが着々と実現されていていいなと思うんですね。ただ、先ほど委員長がおっしゃったように、全区民が同じように参加できる仕組みができればそれが一番よろしくて、例えば豆知識でしたか、資料1-4、とてもいいものなんですけれども、自発的に取りに来た人に手渡し、お配りいただいているということですよ。実際に宮前区内の全世帯にどういう形で配れるのかというのは、非常に大きな問題だと思うんです。もしそれがクリアされたら一実はこの間クイズ番組を見ていましたら、どこの自治体だったか忘れたんですけれども、非常に好評なものが配られていて、そんな大きいものではないんですが、真っ赤な色の台紙に「避難済」と書いてあるシールを必ず1世帯ずつに配っているんですね。

避難所へ避難しなきゃいけないということになると本当はよくないんですけども、うちは完全に家族が避難しましたということ、避難された方はどんどんドアの前に張っていくんですね。そうすると、発災後ですけれども、見まわりとか、おうちの中にだれがいるのではないかという現場での確認のかなりのエネルギーをそこで使わなくていいということで、1枚ずつ各世帯にそれがもらえると、各世帯も意識をして、これを張って出なきゃというふうに思うらしくて、非常に好評な取り組みだと紹介されてきました。全世帯にどういうふうに配っていくかというのは非常に大きな課題だと思いますけれども、何かお考えいただけたらありがたいなと思いました。

永野委員長 この間の防災推進員の中でも、マンションの自治会でそういうのを配って、うちは安全を確認済みだということを玄関に張れというようなことができました。全区民にそういうことができるようなことをまた検討していただきたいと思います。

そのほか、よろしいですか。

宇賀神委員　また防災の話で防災推進員なんですけれども、先日、養成研修をやられたということで、51名の方が参加されて大盛況ということだったんですが、それがこの文を見ると、毎年やるのか、その辺が入っていないんです。宮前区として感触、これを続けていったほうが良いというのだったら毎年受け入れてやるとか、そういうところはどうか。

事務局（西村）　今の御質問でございますけれども、今回、初めての試みということと、土日という貴重な休みを2日間も費やして、どれだけの方に参加いただけるかということで、非常に事務局として心配していた面があったんですけれども、予想を超えます皆さんの防災に関する関心の高さというのをつくづく痛感いたしました。また皆さんからも、今回は参加できないけれども次回はいつやるんだという問い合わせも受けていますので、来年度、また同じような推進員の養成研修を行う予定でございます。

実際、今回51名ということなんですけれども、自主防災組織自体は170名ぐらいの規模でございます。また皆さん受講されておられませんので、やはり皆さんに受けていただきたい気持ちもございます。また、この土日2日間という形にするのか、日にちの間をあけた形にするのかというのを事務局で話を進めさせていただいて、ただ来年度は必ず実施すると。しかも、町会の総会の時期とかもございまして、それが終わった後ぐらい、今回は年度末でしたが、なるべく年度の早い時期に実施できればいいなと事務局では思っていますので、また開催の際にはぜひとも協力をよろしくお願いいたします。

鈴木（和）委員　宮前区文化協会の者なんですけれども、先日は参加させていただいてありがとうございました。

土日と続く朝早い時間帯とか、ちょっと時間帯を考えたらどうかということがうちのほうから報告がありました。それから、また来年度いたしますときに、年齢層は幾つまでというのがあるのでしょうか。うちのほうで選ぶに際して、それも聞いておいたらどうかという質問でしたけれども、出させていただいて非常に勉強になってよかったというお礼を申し上げましたので、お伝え申し上げます。

事務局（西村）　お言葉、大変ありがとうございます。担当としても非常にうれしいお言葉をいただきましたので、また励みにしたいと思います。先ほどの年齢のことなんですけれども、特に年齢等の制限は設けてございません。自主防組織から推薦をいただいた方につきましては、年齢問わず参加という形をとらせていただいておりますので、参加の方は自主防を通じて、また来年度もお申し込みをいただければうれしいと存じます。

永野委員長　ありがとうございました。

区民会議からの提案に対する取り組み状況につきましては、今後とも区民会議の場で

確認をしていきたいと思っておりますので、地域の取り組みにつきましては、委員の皆さんで把握していただいて、毎回ご紹介をいただければと思います。

それでは、時間もありませんので次へ進めさせていただきます。

(2)各部会の審議状況について

ア 公園・地域づくり部会

永野委員長 次に、議事(2)の専門部会の審議状況でございます。初めに、公園・地域づくり部会から報告をお願いします。では、田邊部会長、よろしく願いいたします。

田邊委員 公園部会の田邊でございます。それでは、資料2から始めさせていただきます。第7回より前までは、今までの区民会議の中で発表されておりますので、第7回部会から説明させていただきます。

議論の視点として、公園の日常的な利用、それとかイベントでの活用、利用調整等を行う組織の確立云々ということで話し合いをしてきまして、コミュニティのきっかけづくりとして、具体的な手法としてスタンプラリーであるとか水遊び、体操などの提案も出されました。そういう個々のものがありまして、区民会議フォーラムに対しては紹介として有馬ふるさと公園でのものがありました。

資料2-2、議論ペーパーといたしまして、右のほうの具体的な課題解決策、これはただいま議論中でございますが、公園の魅力をアピールするための方法はどういうふうにしたらいいかというので、公園内での掲示板の設置による情報発信、公園からのまちづくりの必要性をアピール。コミュニティのきっかけづくりとしては、公園に目を向けてもらうためのイベントの実施、それはスタンプラリーであるとか体操、写真コンテストなどが入ってくると思います。それと、日常的に公園を利用できる仕掛けづくり。プレイリアカー、これは東京都の世田谷か何かが実際に行っている方法だそうです。あと公園のキャラバン、この近くにある公園をみんなですっと回っていくことによって、地域の人たちにどこどこにこういう公園があるというのを知ってもらうということなんです。

それと維持管理・運営の担い手については、利用者自身によるルールづくりをやっていったほうがいいのではないか。例えば、これには公園緑地管理運営協議会という組織もありますけれども、そこが云々ということではなくて、実際に公園を利用していらっしゃる方々がルールづくりをしていったほうがいいのではないかという形です。

それと資料2-3、これは私どもがいろいろ話し合いをしてきた中で、どこからスタート云々ということではなくて、ここにありますようにぐるっと回る感じ。例えば現状と課題として、利用の硬直化・マンネリ化、利用層に偏りがあるとか、特定の人しか利用はできないというところから始まりまして、じゃ、具体的な、日常的なイベ

ントだとか活用をどういうふうにしたらいいのか。先ほど申しあげました掲示板の設置であるとかですね。

それから今度は、利用者のニーズの調整。例えばここにあります公園緑地管理運営協議会の存在が、利用していただける方、それとまた地元の方々の認知力が非常に少ないということがあって、どのような形で皆さんにアピールしていくかということです。先ほど申しあげましたけれども、ルールづくりは利用する人たちでやっていこう。利用するときのコーディネーターといいますか、これは運営協議会であるとか、そういうような1つの団体というか組織でやるのではなくて、あくまでも公園を利用する方々の話し合いでやっていこう。それによって、地域のコミュニティの活性化につながっていくのではないかということです。

次の資料2-4、これは「宮前区の公園が“人の輪”をつなぐみんなの公園になるために」ということで、2月21日に区のほうで行われます「まちづくり広場♥みやまえ」、これを使いまして、お見えになっていただいた人たちにアンケート用紙をお配りして、その結果を集めて、それを資料としてどのような形で来年度につなげていこうかというような形で考えております。

以上が公園・地域づくり部会の報告です。

永野委員長 ありがとうございます。

ただいまの報告につきまして、何かご意見、また補足するようなことがございましたらお願いいたします。

恒川委員 宮前区の中で大型な公園というと余りないと思うんですが、6000坪くらい、鷺沼公園が2つのうちの1つだと思うんですが、実はあそこを一種の地域コミュニティのたまり場にしたいということで、西部公園事務所をお願いをして、今車が入れない問題がありますので、2トン車が入れるような改良工事を本年3月末までにやっていただくということでご了解をいただいております。

従来そこで防災訓練をやっておりませんが、防災訓練もやるし、また今鷺沼駅前でやっている盆踊りはいつまでもあそこでできないでしょうから、そういう意味での活用、あるいは地元のいろいろな活動のたまり場として活用していきたいということで動いていることをご報告申し上げます。

永野委員長 ありがとうございます。具体的に地域から地域の公園を活用できるようにという活動がもう始まっているということですね。何か補足するようなことは。

久保委員 公園部会に質問なんですけれども、アンケートなんですけど、これは2月21日に来場した方のみ対象という形になるんでしょうか。

田邊委員 あとは、公園部会の人たちの組織といいますか団体を使って、幅広くご意見をお聞きしたいという気持ちもあります。ただ、まず公の場でやろうとしているのが2月21日のまちづくり広場を活用していこうということです。そのときには、久保委員

を初め、佐藤委員であるとか皆様にご協力をお願いすると思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

久保委員 はい、わかりました。

永野委員長 各団体ごとのイベントが2月、3月、非常に多いので、そういうイベントを使いながら区民の意見をアンケートで募集しようということです。できれば小学校だとか中学校でもやりたいという意見もあったんですけども、とりあえず皆さんがかかわっている団体でできるところから始めていこうということで、いろいろな団体から募集したいということですね。

そのほかございませんか——それでは、今出ましたご意見はまた部会へ持ち帰って、部会の中で議論を続けていただきたいと思います。

イ 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会

永野委員長 それでは次に、宮前区の宝さがし部会からの報告をお願いいたします。高木部会長よろしくお願ひいたします。

高木委員 こんばんは。宮前区の宝さがし～ときめき再発見～、こちらのほうは前回の区民会議の全体会議後に、第5回を12月、第6回を1月に行っています。

第5回のほうから、資料3を見ていただきたいと思いますけれども、宮前区に今まである、実際に資源として、いろいろなチラシとかパンフレットに載っているものについて、どういうふうに肉づけをしていって、膨らませるかという話をした中で、具体的な解決策として、コミュニティの活性化を目指すという考えを基本に持っていくわけですから、その点についてどういうふうに膨らませていくのか、あるいは具体的な解決策として、地域のイベントとかそういったものの団体などに宝探しをしてもらいたいということで、それをどういうふうに仕掛けていくかということが、第5回の部会で話し合われました。

それに基づいて、第6回の部会では、資料3-4「ときめき再発見パート1」というA4、1枚のチラシですけども、こういったものをつくって、とりあえずイベントとか、あるいは部会の委員さんの関係する団体へこれを持っていって、実際に宝物を探してもらおうという、これはテストケースになるんですが、そういった意味でまだパート1という使い方をして、とりあえず自分たちの身近な団体で課題を集めていこう、シミュレーションを試みようということになっています。

資料3-2、A3ですが、そういったことで、今の話が具体的な課題解決策（議論中）の中の地域のイベントの機会をとらえて、このチラシを使ってとりあえず宝物を探してもらおうということで、部会としては宝物そのものを探すということよりも、むしろその過程を楽しんでいただくということで、その間のコミュニティを大事にしていきたいということになっております。その辺も含めて、今回のテストケースがど

ういうふうになるかということ、我々部会の委員としても楽しみにしているところです。

最終的には、そういった押し上げていくものが資料3-3としてイメージにあるんですが、今、資源探しをしていく中で、恐らくボトムアップしていくんだと思うんですけども、そういったものが最終的に宮前区の顔として独立されるのか、あるいは幾つかのものが宝物として上がってくるのか。そういったことも含めて、最終的には、できればそれぞれの地域の地域対抗という言い方はちょっと変かもしれませんが、そういったことでコンペ大会をやったり、あるいは宮前区の宝、顔なりを紹介していく観光親善大使とか、あるいは宮前区のマスコットキャラクターなんかができ上がってくるといいのかなと。そういったものを少し見据えた形で今後進めていきたいと、今部会のほうでは考えています。以上です。

永野委員長 ありがとうございます。ただいまの宝さがし部会からの報告に対しまして、何かご意見がございましたらお願いいたします。補足などつけ加えることでも結構ですが。

松井委員 2月21日のイベントに、先ほどあった3-4の資料を公園部会と同じように配って、それぞれの参加者に提案していただければということで、2月、3月、機会あるごとにこれを活用していきたいということになっております。このほかに、宝物の抽出の仕方については中学校区という攻め方もあるということで、2月21日にいろいろな分科会があるんですが、午後の分科会では特にみどりの回廊ということで、今我々がやっているのは中学校区ごとに緑の状況がどうなっているかということをやっております。中学校の校長会でプレゼンテーションしましたら、大変いいことなので、それぞれの学校が取り組みたいのでそれぞれの学校にプレゼンしてくれということで今しつつあります。犬蔵中は済んだり、宮崎中学校にも世話役が行ってききましたが、来週また菅生中とか平中とか向丘中に行って、緑の話もとりあえずベースになりますが、宝探しなんかにつなげていくということも可能なのかなと思っていますので、そういう場を活用していきたいと思っています。以上です。

永野委員長 ありがとうございます。そのほかございませんか。

あと関連ですけれども、2月21日は、宝さがし部会とうまくくっついているのはガリバーマップというのが2階のロビーで行われます。そこへどんどん宝物を書き入れてもらうことができますので、皆さんも参加してください。

高木委員 ちょっと補足しますけれども、今回パート1ということで試行してみるわけですが、恐らくそういったイベントとか限られた団体の中で宝を探してもらうことになるので、ある意味では少し偏った形の宝物が出てくるんだと思います。その辺も含めていろいろなパターンを部会としては取りそろえていきたいので、できる限り区民会議に来られている委員の皆さんの所属する団体へも、こういったチラシで少し宝物を

探してもらいたいというのが部会としての考えでありますので、協力のほどをよろしくお願いしたいと思います。

佐藤委員 質問なんですけれども、宝さがしのチラシはEメールでも送れるみたいなんです。これは宮前区のホームページとかに載せていて、ダウンロードとかできるんですか。

事務局（田邊） きょう現在ではまだそういう状況にはありませんが、そのようにいたします。

佐藤委員 そうしたらすごくいいなと思って。公園部会も、できるものならぜひ同じようにしていただけたらと思ったんですけれども。そうしたら、ちょっと中学生に言ったら、ホームページ、インターネットとかは見てくれるかなと。

事務局（中山） 補足ですが、宝さがしのチラシの裏面ですけれども、当初はなかったんですが、きょう千葉委員はご欠席ですが、千葉委員の関係の「みやまえぼ一たろう」のほうでも宝さがしのものをそこから応募できるような仕組みを用意してもらえるということですので、先ほど委員さんからあった公園のほうも、その辺を勉強して、お話をして、できるようなことで考えたいと思いますので、よろしくをお願いします。

永野委員長 ありがとうございます。両部会ともまだ資源探し、公園についても利用の仕方の材料探しみたいな段階です。それを区民会議の委員で机上で議論するだけではなくて、いろいろな資源探し自体を区民の皆様に参加していただくということで、こういうアンケートみたいな形をとりました。これは次回の区民会議までに集中的に、地域のイベント、または小中学校などを回ってやりたいと思いますので、事務局でチラシを完成していただいて、皆さんが配れるような形でまたお願いしたいと思います。

鈴木（和）委員 この前、2月28日にうちで大きいイベントをするときに、これを欲しいということでお願いしていると思うんですが、いただけますでしょうか。

事務局（田邊） 2月28日のイベントにつきましては、そのつもりであります。

鈴木（和）委員 それで、当日これに書き込んで置いていく人がいてもよろしいですか。

事務局（田邊） それはそれで結構です。

鈴木（和）委員 ファックスのない人もいますから、郵送するといったらお金がかかるし…。じゃ、何らかの形でうちのほうで取り扱いたいと思いますので、チラシのほうをよろしく願いいたします。

事務局（田邊） 2月28日は、文化協会さんのイベントと区の映像コンクールが重なっております、両方でこのアンケートをお願いしたいなと思っております。

鈴木（和）委員 28日は市長さんもお出ましということですので、1枚お渡ししておきます。

目代委員 今、アンケートがすばらしくいいなと思って聞いておりました。これは今、関

係団体というのはそれぞれ大人の関係団体の集まりなので、例えば小学校、中学校はやらないというような、部会の中でどう決まったかちょっといきさつがわからないんですけれども、やはり小学生や中学生、高校生からの目線というのは、意外に大人には全く気がつかないすばらしいものがあるので、ぜひそういうところにもこのアンケートをとられるといいなと思いました。

恒川委員 今の返事になってしまうのかもしれませんが、先ほど部会長が言ったように、コミュニティの活性化ということはイコール子どもから大人までがどう参加できるかと。考えてみれば、こういう宝というのは地域で共有できるものであれば宝だと思うんですね。そういうものを大いに出していただく、そしてそのものをまたこの区民会議の専門部会でよく相談をしてスキルアップを図り、そして最終的には宮前区の顔、宝というようなところに持っていきたいなと考えています。事実、部会の中でも子どもたちの参加をどうしたらいいのだろう、地域教育会議がいいんだ、いろいろな意見が出ております。そこら辺の集約は今後の課題ということでご理解いただければと思っております。

田邊委員 2-4、公園関係のアンケートの下のほうに、お住まいの地域と同時に年齢、小学校の何年、中学校の何年、それと大人の方の50代とか60代とか70代とかという形で書いていただく欄は設けてあります。

河井委員 宝さがしのほうのアンケートなんですけれども、これはあくまでパート1ということで、子ども向けに関してももちろんアンケートをしたいということですが、この用紙はちょっとかたいタイプですので、子どもは子ども向けにまたパターンを変えたアンケート用紙を用意しようと考えています。子ども、小学校ですと校長の許可とか先生の許可もありますので、例えば私は宮崎台小学校の総合学習で4年生とかかかわっていますので、来年度4月に入って先生方がかわって、1年間を通して総合学習でかかわっていくときに、その中でこういったアンケートを4年生一学年でお願いできますかという形でとれたらいいなと思っております。ですから、そのときにちょっとかたいかなと考えていますので、小学生、もっと小さいお子さん向けには用紙を変えようというふうにも話し合っていたと思います。

永野委員長 そのほかよろしいですか。パート1について補足しますと、区民会議で議論する中で、資源探しがまだ十分にできていないということで、それで一般の区民の方にも資源探しに参加していただこうという発想でございます。

それから、公園部会についても、公園の利用の仕方、公園に何が欲しいか、どういうことをしてもらったら公園デビューができるかということ、やっぱり区民の皆さんの意見をつかまえて、それからもう1回議論を進めたいということでございます。

区民会議としてアンケートづくりをやるということではなくて、区民の意見を吸い

上げるためにアンケートをやっているということで、とりあえず21年度の最初、5月に行われます区民会議まで、それを1段階としてやりたいと思っています。そこで得られたいろいろな意見を21年度の区民会議の議論の中で使っていく。その後、パート2、パート3については、これは解決策の中で、例えば宮前の宝をどういうふうに押し上げていくのか、それは区民みんなで取り組んでいくんだという、その仕組みの解決策を提案しなきゃいけないですね。公園についてもそうです。区民がこうすれば仲よく楽しく使える公園になるという仕組みを解決策の中へ提案していくという形になります。また、それを区民全部でやっていくわけですから、そのときにまたパート2、パート3ということになっていくんだらうと思っています。

よろしいですか——それでは、またそれぞれの部会へ持ち帰っていただいて、議論を進めていただきたいと思います。

(3) 区民会議フォーラムについて

永野委員長 それでは次に議事(3)ですけれども、3月15日に開催を決定しています区民会議フォーラムについて、企画部会で審議した内容の報告をお願いいたします。

なお、企画部会では私が部会長ですが、進行役でございますので、宇賀神さんをお願いしたいと思います。宇賀神さん、よろしくをお願いいたします。

宇賀神委員 はい。それでは、資料4-1でございますけれども、20年度の区民会議フォーラムでございます。開催日時が3月15日日曜日13時30分から16時30分ということでございます。

目的といたしましては、区民に区民会議の意義を知っていただく、それと、今取り組んでいる公園ですとか宝物といった検討内容について知っていただくということが一番の目的だと考えております。3番目といたしましては、取り組みを進める段階でその担い手をふやしていくということも含めて、目的として考えております。

場所でございますけれども、区役所の大会議室を予定しております。第2・4会議室も予定しているようですけれども、これも人数次第ということになると思います。

内容につきましては、第1部で全体会、第2部で分科会、また最後に全体会というようなくりで、内容といたしましては、そのページの一番下の分科会進行案というところで、今の公園部会と宝さがし部会のテーマを2つに絞りましてディスカッションをしていただく。それで最終的には最後10分ぐらいでまとめで、最終的に発表というようなことでやっていきたいと思っております。

当日の時間的なスケジュールがこの裏面のほうに書いてございまして、11時半に委員さんの集合を受けまして、13時半からフォーラムの開始になります。大体14時25分ぐらいまでが第1部でございまして、その後、分科会に分かれまして、最終的には16時30分ぐらいを閉会ということで予定しております。

本日の検討事項でございますけれども、大体決めてはいるのですが、全体の進行管理から司会者、あいさつ、それといろいろな部会のお話を聞く、分科会の進行というようなところで、ちょっと省略させていただきますけれども、このような案で考えております。何分まだ知名度が足りないというところもありますので、ぜひ盛り上げたフォーラムにしたいと思っておりますので、どうぞご協力をお願いしたいと思います。以上でございます。

永野委員長 ありがとうございます。ただいまの報告につき、何かご意見がございますでしょうか。区民会議フォーラムということで、3月15日日曜日ですね。

事務局（中山） 事務局からの補足をさせていただきますと、お手元の封筒にチラシを幾分か入れております。これはフォーラムのチラシですけれども、委員さんのご近所、どなたかご存じの方にお配りいただきまして、市政だより等でも広報はしますけれども、なかなかそういったものだけでは皆さんお越しいただきにくいので、直接委員の皆さんのそれぞれのお知り合いにご紹介いただきまして、ぜひ足を運んでいただきたいと思っております。

それともう1点だけ、当日、フォーラムのところでは事務局中心にやりたいと思っておりますが、第1期の提案に対する取り組み状況をきょうもご報告させていただきましたけれども、フォーラムの当日はその辺のことを廊下等に張り出しをしたいと今考えていまして、見せ方として写真なり資料なり、過去やったもののチラシとかを置いたりしながら、第1期の提案を受けて今までこんなことを取り組んでいますよということも見せていければなと思っております。それぞれの取り組み状況は区役所で把握したものが主ですので、まだ知らないことで提案関係で取り組まれていることが地域にはたくさんあるかと思えます。もしそういったものの情報があればご提供いただいて、そういったところでほかの市民の方にお知らせする機会にもしたいと思っておりますので、情報提供のほうをよろしくお願いしたいと思います。

永野委員長 ありがとうございます。資料4-1の裏面にありますように、当日のスケジュールでございますけれども、午後から最初に区民会議の検討経緯の報告をプロジェクターを使って行う。そして、その代表的な活動を地域の事例紹介ということで、子育ての活動グループ「ポレポレ」と野川カルタの事例報告をしていただく。そしてその後、分科会は公園部会と宝さがし部会に分かれるわけですが、そこへ分かれていただいて、宝さがしについては、宮前の宝をつくり上げていくその夢、つくり上げたときに宮前がどうなっていくのか、そういう夢を語っていただこう。それから公園についても、こういう公園の使い方ができるようになったならば、こんなすばらしい公園の利用ができるなというような、そういったことを皆さんからご意見をいただこう、そういう分科会です。そして、分科会が終わった後、また再び全体会になって発表し合う、そういう流れでやっていこうということでございます。

その下に書いてあります役割分担もそういう形で先日企画部会のほうで検討させていただきました。

ご意見がなければ、これはきょうの承認事項になっておりますので……。

久保委員 フォーラムなんですけれども、特に保育とかはつかないんですね。

事務局（田邊） お子さんを連れてこられた方の一時預かりということですよ。それは考えたいと思っております。

永野委員長 当日の保育は可能だということですね。

それでは、この企画部会からの提案についてご承認いただける方は、拍手でお願いいたします。

〔 賛成者拍手 〕

永野委員長 ありがとうございます。それでは、そのようにしたいと思います。また、今後、分科会の詳細な部分につきましては、各部会でさらに役割分担などについて確認をさせていただきたいと思っております。また、3月15日のフォーラムについては基本的に区民会議の委員の皆さんにはぜひ全員出席いただけるようによろしくお願いしたいと思います。

(4) 中間報告について

永野委員長 それでは次に、議事(4)の中間報告について事務局から説明をお願いいたします。

事務局（中山） それでは、資料5になりますけれども、第2期宮前区区民会議中間報告書構成案をごらんいただきたいと思います。

第2期につきましては、第1期と違いまして、2年間で各課題を議論していただきましてご提案いただくという形になっておりますので、事務局で構成案を考えまして、1月27日に企画部会がございましたので、そちらでも同じ案をお示しさせていただきました。企画部会でも議論の時間がなかったものですから説明のみにとどまりましたが、また本日もご説明させていただきます。何かご意見があればいただければと思っております。

構成としては大きく3点、1点目が第2期の活動の特色ということで4点ばかり、今回、第2期のテーマとして、それぞれ2つ部会がございますけれども、それを包含した大きなテーマということで、「明日のコミュニティ形成を目指して」ということを共通の大きなテーマとして設定しておりますので、そういったことを触れていくということと、2点目として、提案と取り組みのつながりの強化ということで、これは1期と違いまして、2年間を通じてテーマを検討して、事例調査なり今回のアンケートのような1期にはないような取り組みもございますので、そういったものをここで紹介していくという形です。3点目として、より区民に身近な区民会議をということ

で、今回初めて向丘地区でも開催をしておりますので、そういったことを若干触れていく。4点目に、第1期の提案に対する取り組みということで、これは第1期から引き続きですが、取り組みの状況について報告をしている。そういったことに触れていくということで、第2期の活動の特色を1点目として置いております。

2点目は活動の中間報告ということで、まだ具体的な解決策の提案までには至っておりませんが、公園・地域づくり部会と宮前区の宝さがし部会、両部会のこれまでのテーマの設定から検討内容の中身について、ここで触れていくということで、2点目で活動の中間報告という形で置かせていただいております。

3点目で区民会議フォーラム開催の報告ということで、3月15日の区民会議フォーラムまでを含めて第2期の中間の報告という形で、それ以降に取りまとめをして中間報告として出すという方向で今こちらのほうに出させていただいておりますので、区民会議フォーラムの全体会と分科会の報告を15日が終わってから取りまとめて、中間報告の中にも盛り込んでいきたいという形でここにお示しをさせていただいております。

それぞれの項目のところに括弧書きでページ数を振っておりますけれども、これは目安でございますので、これがどれぐらいになるかということもございまして、目安ということで考えていただければと思います。

それと中間報告は一応3月いっぱい発行の形になろうかと思います。中間報告についてはページ数は多少ボリュームがあるかと思いますが、区民会議だよりを何カ月かに1回発行しておりますけれども、3月の末にも次号の区民会議だよりを発行する予定がございます。その区民会議だよりの号を中間報告のダイジェスト版みたいな形にも使えますので、それとセットで、そちらを見れば大体概要がわかるようなつくりも考えたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

事務局からは以上でございます。

永野委員長 ありがとうございます。中間報告について、ただいまの説明に対して何かご意見がございますでしょうか。

田邊委員 ちょっと教えていただきたいのですが、活動中間報告について、「公園・地域づくり部会（4～8P）」というのは、4ページから8ページという意味で受け取ってよろしいですか。

事務局（中山） そうです。それぞれ4ないし8ページの分量というのですか、目安ですが、これが結果的に10ページになるかもしれないですし5ページになるかもしれません。それはわかりませんが、あくまで今の目安として置かせていただいております。

田邊委員 そのものについて10分ぐらいで報告をすると理解してよろしいのでしょうか。

事務局（中山） 今の話はフォーラムの話ですか。

田邊委員　そうです。

事務局（中山）　これは中間報告ですから、中間報告書はフォーラムが終わって、それを盛り込んだものを報告書としてまとめるということです。

永野委員長　きょうの会議、それから3月15日の区民フォーラムの中身も入れて中間報告書をつくるということになります。ですから、詳細については企画部会でもう少し練りまして、3月いっぱいをめどにつくりたいと思います。そして区長への報告は4月にずれ込むかなと考えております。

佐藤委員　アンケートをとるので、公園部会のほうにアンケートでどんなものが出たかというの、短くてもいいんですけども、中間報告で入れてもらえたらと思うんです。アンケートをいただいた以上、結果を返さないと、自分がアンケートを書いたときに、結果がどうだったのだろうというのはすごく気になります。せっかくの中間報告書なので、アンケートをいただいたものが、自分が出した以外にもほかの人はどう考えているのかというのもすごく参考になると思うので、ページ数の都合もあると思うんですけども、できればどこかで載せていただけたらと思います。

永野委員長　それは可能ですよね。

事務局（田邊）　中間報告を作成するぎりぎりまでのところで収集したアンケート結果等につきましては、できるだけ反映させる方向で考えております。

佐藤委員　ありがとうございます。

永野委員長　それでは、本日のご意見、資料を基本として、今後、企画部会を中心に内容について詰めていきたいと思います。そして、中間報告書については3月15日の区民会議フォーラムを経て、3月末をめどに取りまとめたいと思います。そして、4月に入ってから区長へ提出することで確認したいと思います。

そうした日程、内容についてご承認いただける方は拍手でお願いいたします。

〔 賛成者拍手 〕

永野委員長　ありがとうございました。

3 報 告

平成21年度宮前区協働推進事業予算（案）及び区の課題解決事業予算（案）について
永野委員長　それでは、次第の報告事項に移ります。平成21年度宮前区協働推進事業予算（案）及び区の課題解決事業予算（案）について事務局から説明をお願いいたします。

事務局（田邊）　それでは、私、企画課長の田邊からご説明させていただきます。資料6をごらんいただきたいと思います。

資料6、平成21年度宮前区協働推進事業予算（案）でございます。こちらにつきま

しては、2月10日に市長から記者会見で予算案を市民の皆様方にご説明をしたところでございまして、今後開かれる議会のほうで審議がなされまして、正式に成立するという形でございます。

こちらの協働推進事業でございますけれども、協働推進事業と申しますのは、区が主体となりまして区民の皆様への参加と協働によりまして地域の抱える課題解決や地域特性を生かした事業を実施いたしまして、区における総合行政の推進に資することを目的といたしているものでございます。皆様方からご提案いただきましたものも随時こちらの事業予算に反映をして事業化を図っているものでございます。

資料6でございますが、こちらには予算総額で5500万円ということで、現状は7区一律という予算立てになっておりますが、今後につきましては、各区によってその取り組み内容等に応じまして予算も増減がされていくというような方向性が打ち出されているところでございます。21年度につきましては、5500万円という枠の中で事業を執行していくという形になっております。

こちらの表でございますが、1から7まで大きく分野分けをしております、こちらが川崎市の総合計画に基づく大きな枠組みになっているところでございます。こちらの資料の例えば1でございますけれども、安全で快適に暮らすまちづくりから始まりまして、7番目のその他までありますけれども、事業といたしましては全部で33の事業が掲載されているところでございます。時間の都合もございまして、このうち目新しいものですか、特に目玉となるような事業につきましてご説明をさせていただきたいと思っております。

まず初めに、1の安全で快適に暮らすまちづくりでございます。このうちの(3)子ども安全・安心見守り事業、こちらは区民会議からご提案をいただいたことを踏まえまして、今事業を展開しているものでございますけれども、来年度につきましては地域安全マップの作成ということで8校で予定をしております。これに伴う謝礼ですとか事務用品費、それからさらに情報共有を図るための通信を2回発行する予定でございます、こども支援室が主体となって当たるわけでございます、予算といたしましては112万2000円を計上しているところでございます。

続きまして(4)防災意識普及啓発事業でございます。こちらも区民会議のほうからご提案をいただいたものでございまして、先ほど地域振興課から詳細な取り組み状況のご報告をさせていただいたところでございますが、21年度につきましても引き続きまして区民の防災意識向上を図るために防災フェアの開催、防災ニュースの発行、それと防災推進員の養成という、この3本柱を中心に事業を展開する予定でございます。こちらの予算といたしまして196万5000円を計上しているところでございます。

続きまして(5)ねずみ、昆虫等駆除対策支援事業でございます。この◎が新規事業という位置づけになってございます。こちらは衛生課が所管している事業でございます

けれども、感染症予防ですとか健康で快適な居住環境の確保という点から、最近、区民の皆様からこういった害虫ですとかねずみですとか、そういったものの駆除に関する問い合わせを多くいただいているところがございます。こちらにつきましては、全市バージョンといたしまして10年以上前につくられたものがございますが、宮前区におきましては7区の中で初めて、さらに写真入りのもので新しいものを再度つくっていかうという計画でございまして、2種類の冊子、パンフレットを予定しております。1つは、仮称ですけれども「宮前区住まいの虫たち」というものと、それからもう一つが「ねずみ駆除対策」というものでございまして、それぞれ1万部の作成を予定しているところがございます。こちらにかかる経費といたしまして127万7000円を計上しているところがございます。

続きまして、2、幸せな暮らしを共に支えるまちづくりでございまして、こちらにつきましては高齢者健康づくり支援事業ということでございまして、こちらも区民会議からのご提案を踏まえまして事業を展開しているものでございまして、所管課が地域保健福祉課でございますが、主に公園体操の広がりを目指しまして、体操マップ作成を区民の皆様と協働で展開していくという予定でございまして、こちらの予算といたしまして67万6000円を計上しているところがございます。

続きまして、3の人を育て心を育むまちづくりでございまして、こちらの中では(1)子育て支援事業でございまして、こちらも区民会議から提案をいただいたものでございますが、〇はさらに拡充ということでございまして、子育てガイド「とことこ」を委員会方式で作業いたしまして改訂作業を行っていく予定でございまして、そのほかにも、かわら版の作成を年2回予定しております。またホームページの更新等も予定しております。「とことこ」につきましては作成部数1万部を予定しております、おおむね3年間これで対応するというふうに考えてございまして、予算といたしましては255万9000円を計上しているところがございます。

また、(2)親と子の子育て応援セミナー事業でございまして、こちらにつきましては、こども支援室のほうでゼロ歳から1歳の幼児を対象に7回連続の講座を企画しているところがございます、予算といたしましては49万8000円を計上しているところがございます。

続きまして、(4)こども包括支援事業でございまして、こちらは◎がついてございまして新規事業ということで、宮前区といたしましても21年度の目玉事業と位置づけているものでございます。こちらは旧南野川小学校附属幼稚園の現在活用されていない建物を利用いたしまして、いじめ等による不登校の子どもの居場所づくりですとか、家庭相談員、子ども教育相談員による出張相談、それから子育てサロンの開催、そのほか自主サークルの活動場所の提供等を行っていくというものでございまして、21年度につきましては週3日の開所を予定しているところがございます。また対象はゼロ歳か

ら18歳までで、NPO等と連携をして事業を展開する予定でございまして、予算といたしましては313万円を計上しているところでございます。

次のページに移っていただきまして(6)でございますが、シニアライフ支援事業ということでございまして、こちらにつきましても今年度に引き続きましてシニア世代のライフサポートをする相談窓口の開設、出張相談、講演会、それから地域の担い手の養成講座等を予定しているところでございます。予算といたしましては134万8000円で、所管は企画課でございます。

続きまして、4、環境を守り自然と調和したまちづくりでございますが、こちらの(2)をごらんいただきますと、宮前区役所屋上緑化事業ということでございます。昨今の環境問題等々を踏まえまして、今年度につきましても宮前区ではゴーヤーの栽培ですとかエコバッグへの取り組み等を行ってきたところでございますけれども、来年度につきましては宮前区役所の屋上を活用いたしまして、そちらにコケ植物——ニューモスと言うのだそうで、スナゴケ、ハイゴケの混合したものらしいんですけれども、これがかなりCO₂削減等に役に立つということと、さらに維持管理、メンテナンスが非常に容易であるということもございまして、面積的には234平米を予定しております、事業費といたしまして、設置工事費でございますが、246万8000円を計上したところでございます。

続きまして、5、個性と魅力が輝くまちづくりでございます。こちらにつきましては、地域振興課を中心といたしましたイベント系、特に音楽のイベント系が多く列挙されているところでございます。(1)のみやまえロビーコンサートにつきましては、毎月1回、年12回、区役所2階ロビーでのコンサートを予定しております、主に演奏者の出演料等を中心に170万円の予算を計上しているところでございます。

また(3)みやまえ新春コンサートでございますけれども、こちらにつきましては、会場、機材使用料、オーケストラ奏者謝礼等で81万円の予算を計上しているところでございますが、21年度から若干の受益者負担ということも踏まえまして、入場料として500円を徴収させていただくという計画になっているところでございます。

続きまして、(6)みやまえ映像コンクール支援事業でございます。こちらにつきましては、今年度につきましても2月28日に予定しているところでございますが、昨年度、今年度と2回の事業実施をするわけでございますが、もともと事業提案制度という中から毎年審査を受けて採用されてきた事業ではございますが、事業内容に対する評価が非常に高いという状況も受けまして、定例事業に昇格というような形で位置づけて、事業提案制度ではなくて定例的な事業として位置づけていくという方針でございます。70万円という予算を計上いたしております、講師謝礼ですとか機材の借上料とか印刷製本費等に充てていくという予定でございます。

続きまして、(7)友好都市交流事業につきましては、観光協会との連携を初め、地域

で活動する活動団体とも連携いたしまして、物産・観光交流を初め、市民間交流等々に取り組んでいくということでございまして、69万2000円の予算を計上しているところでございます。

続きまして、次のページに参りまして、6、参加と協働による市民自治のまちづくりでございますが、こちらの(1)、(2)につきましては、地域振興課が担当しておりますまちづくり協議会に関する予算が大半を占めているという状況でございます。

(1)のまちづくり推進事業につきましては、基本的にはまちづくり協議会の活動経費でございますが、481万9000円という予算でございますが、この内訳として、大きなものとしたしましては、例えば資金支援事業に約200万円ですとか、まちづくり広場の開催に50万円ですとか、その他広報紙に約70万円といったものを初め、そのほかにもフォトコンテストですとか子どもフォーラム、環境パトロール、ホームページ、まちづくり学級等々の事業を実施しようということで予定をしているところでございます。

また(2)のまちづくり支援事業318万5000円につきましては、主にコンサルタントによる運営経費、コンサルタントの委託経費というところでございます。

続きまして、(5)宮前歴史ガイド作成事業でございます。こちらにつきましては、前回、平成14年に作成いたしましたが、それが古くなったことと在庫がなくなったということで、新たに1万部を作成するという予定でございますが、おおむね折り込み式で8ページ物で、裏一面に歴史地図といったような構成を現在考えておりまして、平成21年10月完成予定をしているところでございます。予算といたしましては160万3000円を計上したところでございます。

続きまして、(7)地域情報発信事業でございますが、こちらにつきましては、区民会議等の提案も受けまして、地域情報のイベントカレンダー等の作成とその発信、さらに区役所等から町内会・自治会への情報発信等におきましても、効率的・効果的な情報発信、それから町内会・自治会の負担軽減ということを目的といたしまして、それを集約して、基本的には毎月1回一括して送付をするという新しい情報発信の方法を考えているところでございまして、予算といたしましては262万5000円を計上させていただいたところでございます。

続きまして、(8)地域の課題解決に向けた事業提案制度でございます。こちらにも企画課が所管でございますが、来年度につきましては100万円という予算をとりあえず計上させていただいているところでございまして、委託または補助といった仕切りの中で、年間を通じて区民の皆様方からの提案を受けまして、それをその都度、区役所内で審査をさせていただいて、採用されたものにつきましては予算を支出していくというものでございます。

続きまして、次のページに参りまして、7、その他でございます。こちらにつきましては、(1)の管理運営経費と(2)の緊急対応費ということでございまして、緊急対応

費につきましては516万円という予算を計上させていただいております。こちらは緊急的な事業に対応するための経費となっておりますけれども、年度途中で新たな事業展開が必要になった場合ですとか、今後いただく区民会議の皆様からの提案等の実現化に向けて、要は新年度を待つことなく必要に応じてこちらの予算を活用して、21年度内でも対応を図っていければと考えて確保しているところの予算でございます。

以上が21年度の協働推進事業の予算のあらましでございます。

それから、その下でございます。平成21年度宮前区・区の課題解決事業予算でございまして、こちらは5500万円とはまた別枠の予算となっております。こちらは事業局と連携をしながら、さらに区民とも連携をして事業を推進していくというものでございまして、2つ予定してございます。

1つが、川崎の北の玄関口周辺の再構築ということで、まちづくり局とともに連携を図っているものでございます。東名川崎インターチェンジを川崎の北の玄関口と位置づけまして、その出口周辺の環境整備、特に看板、サイン等の整備を行いまして、市のイメージアップを図っていこうとするものでございまして、21年度につきましては看板デザインの作成等を行っていく予定でございます。

続きまして、2の商店街と連携した地域コミュニティ促進事業でございますが、こちらは経済労働局とも連携をしながら展開をしようとする事業でございまして、今年度はエコバッグコンテストですとか蔵敷商店会での「オオカミの護符」の上映会等を予定しておりますけれども、来年度につきましても引き続き商店街等と連携をしながら、さらに地域コミュニティの促進を図るための事業を予定しております。今の段階での計画といたしましては、鷺沼地区におきまして、地域のたまり場、交流スペースの創設等々を予定しているところでございまして、予算といたしましては176万1000円を計上させていただいたところでございます。以上でございます。

永野委員長 ありがとうございます。ただいまの説明につきまして、何かご意見などございましたらお願いいたします。

目代委員 3番の人を育て心を育むまちづくりのところの(5)の◎、親子ふれあい事業についてもう少し詳しい説明をしていただけますでしょうか。

事務局（田邊） これは新規事業ということで、こども支援室が所管しているものでございますので、今、こども支援室長が参っておりますので、こども支援室からご説明をお願いしたいと思います。

事務局（小山内） 近年、少子高齢化がますます進展する状況の中で子どもや子育ての環境が大きく変化していますので、子どもを安心して産んで、ゆとりを持って育てるために、家庭、地域、関係機関が一体になって親子でいろいろな体験を通してともに育ち合うものをしていきたいなということで、具体的内容といたしましては、春は特別講演会ということで、今回、こども支援室は思春期にポイントを当てておりますの

で、春は思春期に関する講演会を実施する予定です。夏につきましては、七夕会とプラス伝承遊びみたいなものを予定しております。秋につきましては、スポーツセンターをお借りして親子スポーツ大会を11月ごろ、冬につきましては、簡単な乳幼児向けのお料理ができるように親子料理教室等、四季折々の内容を考えております。

目代委員 どうもありがとうございました。

永野委員長 そのほかございませんか。

川西副委員長 質問なんですけれども、6番の参加と協働による市民自治のまちづくりの(1)と(2)のことなんですけど、まちづくり推進事業で先ほど481万円の内訳が、200万円ぐらいが事業支援だとおっしゃったかと思うんですね。そうしますと、事業支援というのは区内のいろんな団体へ補助としてお出しになるわけでしょうから、残りの280万円ぐらいがまちづくり協議会が推進している事業費ということですよ。それに対して、(2)のまちづくり支援事業がコンサルに対しての委託経費が一番だとおっしゃったんですけれども、318万円全部じゃないのでしょうかけれども、コンサルへの委託というのは何ですか。

事務局（田邊） まちづくり協議会の活動に当たりまして、理事会ですとか部内会議、幹事会等々がございます。それが年間で約50回近く開催されておまして、その活動支援をコンサルタントにお手伝いをいただいているというものがございます。ただ、これはすべてがまちづくり協議会のためにという予算ではございませんで、さらに市民活動に対する必要なアドバイス等、まちづくり協議会に限らず、そういった場面でコンサルタントを活用するという部分にも使う予定をしているところです。

佐藤委員 区の課題解決事業予算（案）の商店街と連携した地域コミュニティ促進事業ですけれども、これは商店街をどこにしようというのはどういうふうに使われているのかが、ちょっと気になったのですが。

事務局（田邊） 基本的には宮前区の商店街連合会の会合がございますので、そちらで今年度はどこにしようというご相談はさせていただいているところでございまして、20年度につきましては手挙げ方式でやりましたところ、3カ所の商店街さんからエントリーがあったということでございます。21年度につきましても、さぎ沼商店会さんのほうとは交流スペース、たまり場の創出というようなところでの話が進行しつつありまして、それ以外にも幾つかそういう候補がございまして、それは随時事業化を図っていくつもりではおります。まだ具体的にはこれからという状況でございます。

佐藤委員 ありがとうございます。

川西副委員長 たびたびですみません。先ほどの件なんですけれども、私は教育委員会のほうの教育プランを作成するときに、審議会と分科会と2年間で物すごい出席回数があったんですね。コンサルタントが入って、年間60万円コンサルタントに支払われる件で委員会がものすごく紛糾したんです。この60万円は一体どういうふうに使われる

のだということで、議事録の起こしであるとか、どういうことかよくわからないけれども、さっきおっしゃった年間50回の会議と、それ以外にもおっしゃったけれども、こういう外部の人たちをお使いになるときに発生する費用等が本当に妥当なのかどうなのかというのは、大事な区民のお金なので、ちょっと金額が大きいかなと私は思いました。そのことだけ申し上げます。

鈴木（恵）委員 いろんなところにマップというのがたくさん出てくるんですね。ばらばらと同じようなマップを幾つもつくって、これはどういうことかというのは私はとても不思議に思うんですが、宮前区内全部を1つにまとめたような、例えば体操だろうがコミュニティのたまり場だろうが、まちの中に何があるかが知りたいわけですよ。1枚の中にいろんなものを盛り込んだマップを見れば、そのまち、コミュニティがわかるんだということを——それはまさに縦割りじゃないですか。そんなマップを幾つも、こんなにたくさん予算を使ってやるのは全く不合理なことだと思いますが、いかがですか。

事務局（田邊） こちらにあるだけでも、今ですと宮前ガイドマップ、それから歴史ガイドもマップ的要素はあるのかなとは思いますが、先ほどちょっとお話をした公園体操のマップですか……。

鈴木（恵）委員 商店街もマップと書いてある。商店街と連携した地域コミュニティ促進事業。

事務局（田邊） 商店街のマップは通常のマップとは違っていて、今イメージしているのは、商店街活性化のために、ある特定の商店街を中心に、地域の小学生とかを巻き込んで、その商店街の絵というのですか、そんなものをつくれればいいなと思っているところでございまして、一般的な地図的なマップとはちょっと違うイメージを今のところ描いているところではあります。それは通常のマップに落とし込むのは難しいのかなとは思いますが、例えば公園体操のマップなどは、通常あるガイドマップとの融合等も、今おっしゃられたとおり考えていく必要はあるのかなとは思っております。

河井委員 4番の(2)宮前区役所屋上緑化事業なんですけれども、屋上は行ったことがないですが、行かれるような屋上で、ガーデンをつかって一部をコケをつくるとかいうイメージなのでしょうか。それとも地球温暖化でエアコンとかそういうもののために緑化をするとかいうイメージでしょうか。

事務局（田邊） まず建物の温度を下げるということと、CO₂削減が中心になっております。宮前区役所の屋上につきましては、簡単に人がガーデン的に出入りできるような構造には残念ながらありませんので、今のところそこは難しいのかなということと、実はこの建物自体が耐震補強が必要な建物でございまして、余り重いものはまだ載せられない状況でございまして。その中でもいつまでも手をこまねいているわけにもいかない中で、高津区役所がコケをやって成功されているという事例を踏まえ

まして、非常に軽いんですね。躯体への影響も少ないということもあって、今回このコケを採用するに至ったという状況でございます。

永野委員長 それに関連して、昨年やっていた壁面緑化もありますが、壁面緑化なら皆さんの目を楽しませたり、参加できたり、それを利用しながら各家庭でもやってみようかということになりますね。屋上のだれも行かないところでやっても、よくわからないで、断熱性能向上だけかという気がしますけれども。

事務局（田邊） 今年度、ゴーヤーをやりました。来年度も当然それは引き続きやっています。

久保委員 ゴーヤーなんですけれども、ことしもやるということなので、1つアドバイスとして、日陰のところにゴーヤーを育てても余り意味がないと思いますので、ぜひ日の当たる場所を選んでいただければと思います。

高木委員 おっしゃるとおりだと思います。

永野委員長 市民の皆さんでも専門家はいっぱいいますので、もう少しうまく。あの貧弱なゴーヤーでは……。

事務局（田邊） 今年度につきましては一応テストでございましたので、来年度はきちんと。実は場所探しが大変でして、たまたま区役所は北側で日陰になってしまったんですけれども、同時に建設センターなどとか向丘出張所でもやっています、そういった場所ではきちんと南側でやりました。

川西副委員長 1つ、とてもいい取り組みが多いなと思ってうれしいんですけれども、今のゴーヤーの育て方で、市民の人たちから専門的なアドバイスが入ったじゃないですか。せっかくいいことをやるのだったら、行政の方たちは専門的な領域へ踏み込んでいらっしゃる専門職の方が多いのでしょうかから、知見をできるだけ集めて事前にやっていただいたらいかかだと思います。

実は先日、地域安全マップの小宮先生をお呼びして講演をしたときに、そのトンネルで殺人事件がありましたね。その後、すぐに地元の中学生在が海中の魚の絵をとともきれいに仕上げ、私も何度も見に行きましたけれども、私たちはとてもすばらしいと思って感動したのですが、その後すぐ落書きが出ましたよね。もちろん地元の人たちがすぐ消しました。犯人も特定されています。小宮先生もこの間の講演の前にそこを視察されて会場へお入りになったんですけれども、そのときに一言おっしゃったことは、落書き犯というのは自分のかく芸術というか、アートを見てもらいたいという表現欲が動機づけになっているので、あれを見たときに、これはかかれると思った。多分落書きは背景が白いキャンバスのところにかかれたに違いないとおっしゃったんです。私たちは後日、最初の落書きがかかれた場所を特定したら、本当に白いところだった。

先生がおっしゃるには、落書き防止をするためには、幾何学模様とかサイケとか、

抽象的な原色でぼんぼんかけば、落書き犯はその上に自分の絵を重ねる意欲を失ってかかないということは明らかなことだとおっしゃって、あれはまちを犯罪のないまちにしようということでの取り組みの一環だったのだとすれば、せっかくいいことをやったときに、そういう知見が手前で入っていればどんなによかったかとちょっと思ったことがあるので、そういうようなことも事前にみんなで勉強し合ったらいいのではないかと思いました。

永野委員長 ありがとうございます。そのほかよろしいですか。

高木委員 話がちょっと戻るんですけれども、さっきのガイドマップなのですが、例えば歴史ガイドマップは前にできたのが平成10年ということだと、10年に1度しかつくられていないんだと思うんですけれども、この辺の新しい情報の収集はどういうふうにされているのでしょうか。

事務局（田邊） 歴史ガイドマップにつきましては、前は平成14年でした。こちらにつきましては協働作業ということになっておりますので、具体的にどういうふうに情報を収集しているのかということにつきましては、私もよく把握をしていなくて申しわけございませんが……。

区長 14年につくった経過なんですけれども、地域で宮前区の歴史とか古墳とか、あるいは仏像といいますか、お地蔵さんとか、そういうものを含めて1回まとめてみようということで、市民メンバーでプロジェクト方式でつくったという経過がございます。

その後、どうフォローアップしたかというのと、多分その当時の10人ぐらいか、まちづくり協議会のメンバーとダブっている部分があるのですが、そういう地域で蓄積した知識を1回公的なものの歴史マップにしようということで、時系列と探査、歩いてみましたということがあって、区としてはその後のフォローアップは率直に言ってしていません。今回やることによって、その後発見されたものとか、あるいは新たな視点とかで、どうやってつくるかというのはまたやり方は地域振興課のほうで考えているといいますか、応募型になるかと思っておりますので、地域のそういう歴史的な部分あるいは先ほどあった顔とか資産とかとつながってきますので、ぜひ連携したものにしていきたいと考えています。

高木委員 質問したのは、部会で今、宝さがしということがあったものですから、その辺でどういうふうに情報を収集されるのかというのがちょっと興味があったものですから。歴史といっても、本当に古いものから近代史まであるので、その辺もどういうふうにお考えなのかなというところがちょっと気になったので質問いたしました。

事務局（田邊） 補足なんですけれども、今、高木部会長が言われたとおり、現在の部会でも似たような取り組みをしているわけでございまして、そういったことも踏まえて作成に当たるという方針を伺っております。

河井委員 先ほどの屋上緑化の件で、見えないところを緑化するのにお金がかなりの額に

なると思うんですけれども、実は区役所の中の各所におととしまで緑の寄せ植えをつくって、それは区役所のほうからはお金がないということで、部長以上の方々が花花クラブというのをつくられて、そのお金で運営していた実績があるんですけれども、なかなかそれも続かずに終わってしまっている状態なんです。ロビーコンサートのときにもお花のきれいなのが飾られていると思うんですが、あれもにんじんさんが全部自腹で飾られているような状況なんですよね。見ますと、BGMを流すのにも予算が組まれていますし、身近なところの区役所の中のイメージアップの緑は考えてはいらっしやらないのかなと思ひまして。

事務局（田邊） それは考えております。情報収集が少なかったのかもしれないのですけれども、もしそういうご提案をいただけるのであれば、ぜひ事業提案制度を活用していただいて、随時受け付けておりますので、ご相談いただければと思っております。

それから屋上緑化の場所なんですけれども、やはり見せることは大切だと思っておりますので、今3階の屋上を予定しております。そちらはこのロビーからは見えることは見えるんです。

宇賀神委員 ちょっと質問なんですけれども、4番の東名川崎インターチェンジの件ですが、これが最後の21年度の課題解決事業と同じような事業かなと思うんですが、その辺は役割がちゃんと分かっているのか、それともただ予算の出どころが違うのか、その辺お聞かせいただけると……。

事務局（田邊） 東名インターチェンジの周辺整備なんですけれども、これは役割をきちんと分けてございます。協働推進事業のほうで書いてございます周辺整備事業につきましては、土橋町会と協働いたしまして、インターチェンジの出たところの花壇整備を中心に組んでいるところでございます。区課題のほうにつきましては、基本的には出口のところの看板デザイン等のイメージアップを図るための整備ということでございまして、地権者の方等との今後の調整が大部分を占めるかと思うんですけれども、そういったことへ向けてのデザイン作成という形で、一応すみ分けはきちんとしているつもりではおります。

鈴木（和）委員 お願いごとですけれども、宮前のフォトコンテストというのがありますよね。あれは予算がひとつも出ていないですよ。あれは私も審査員で出ておりますけれども、非常に素晴らしい作品が何百点と集まった中で審査するのですが、予算がないというのは不思議だなと私はいつも思っているのですが。

事務局（田邊） 先ほども触れさせていただきましたが、6の参加と協働による市民自治のまちづくりの(1)まちづくり推進事業、まちづくり協議会の一つの事業としてフォトコンテストは位置づけられておりまして、こちらには書いておりませんが、先ほど口頭でご紹介させていただきましたが、予算としては481万9000円の中に含まれているものでございます。

鈴木（和）委員 それはその中からフォトコンテストのほうにも出せるわけですね。それはフォトコンテスト自身に幾ら予算が行くということではないんですね。

事務局（田邊） ですから、この481万円の予算の中にちゃんと組み込まれているということでございます。

松井委員 年間で10万円弱かな。

河井委員 賞品は出ないのですか。表彰状が出るのですか。

鈴木（和）委員 表彰状が出まして、私が自腹でお花を表彰者にプレゼントいたします。その花のお金を出せということと言っているんじゃないんですよ。これは感謝の意味でやっておりますから、間違わないでください。

事務局（田邊） そういう意見を所管課の地域振興課のほうへ伝えてまいりたいと思います。

永野委員長 ありがとうございます。そのほかはよろしいですか。

それでは、またきょう出ました意見を反映していただきたいと思います。また、最後に緊急対応費ということがあって、区民会議への提案の緊急を要するものには考えることができるようなこともありましたので、ぜひ提案をしていただきたいと思います。

4 その他

永野委員長 それでは、次にその他ということで、まず私から参与との懇談会についてお話を申し上げたいと思います。

参与の皆さんとの懇談会については、部会の議論がある程度進んでから実施するということが皆さんにご了解をいただいていたかと思います。そこで、企画部会で話し合った結果、4月の中間報告を行ったタイミングが区切りがいいのではないかと。その後できるだけ早い段階で開催してはどうかということになりましたが、いかがでしょうか。ご意見があればお願いいたします。

福田先生、持田先生、太田先生、4月ごろということではよろしいですか。

福田参与 はい。

持田参与 はい。

太田参与 はい。

永野委員長 中間ということで、第4回の前後という話がありまして、以前、11月ごろという話もちらっと出たかと思いますがけれども、選挙の絡みがあって延びたという感じがします。今回も4月に選挙が決まっていなくても、とりあえず4月ごろということで進めさせていただきたいと思います。また細かい日程などの調整につきましては事務局をお願いしたいと思いますので、どうぞよろしくお願いたします。

その他、事務局のほうからお願いいたします。

事務局（田邊） そういたしましたら、資料7に基づきまして今後のスケジュール案ということでご説明させていただきたいと思います。

資料7でございますが、本日が第4回区民会議ということでございまして、次の大きなイベントといたしましては、3月15日に予定をしております区民会議フォーラムでございますので、こちらに向けまして、来月、3月に入りまして企画部会、それから公園・地域づくり部会につきましては3月5日と日程が決まっております。また、宝さがし部会につきましても3月3日と日程が決まっているところですので、よろしくお願ひしたいと思います。

20年度につきましてはこういう状況でございまして、新年度につきましては、フォーラムの結果も踏まえまして、4月早々に中間報告をするという予定でございます。21年5月に第1回区民会議でございまして、21年度につきましても基本的には5月、8月、11月、翌年2月ということで、年4回の全体会議を予定させていただいているところでございます。また、第2回または第3回の区民会議におきまして最終的な報告の内容の確認をさせていただければと考えているところでございまして、最後、2月の第4回区民会議におきましては第2期の総括という予定でございます。また、その後で最後の区民会議フォーラムと総括報告というスケジュールを予定させていただいているところでございます。また、全体会議の合間の月につきましては、適宜、各部会を開催させていただければと考えているところでございます。

以上がおおむね今後のスケジュールということでございますが、これとは別途に、実は7区の区民会議の委員さんの情報交換会というものを現在検討しているところでございます。こちらにつきましては、昨年度、高津区役所のほうで、中原区の区民会議からの提案で有志ということで、中原区以北の区が集まりまして情報交換会を開いたところでございますけれども、今回、自治推進委員会の提言で、7区の区民会議の委員さんの情報交換が有意義ではないかという提案がなされましたので、そちらを受けまして、現在、総合企画局の自治政策部が中心となりまして情報交換会の開催の準備を進めているところでございます。

予定といたしましては、各区の区民会議の進捗状況を踏まえまして、中間報告が出される前後がよろしいのではないかという状況でございまして、宮前区だけテンポが早くて、他の6区につきましては大体7月、8月ぐらいから立ち上がっておりまして、中間報告が出されるのもことしの7月ぐらいになるのかなという状況でございます。それに引きずられまして一応7月前後に開催が予定されているところでございますので、その節は出席委員等の調整をお願いしたいと考えているところでございます。以上です。

永野委員長 ありがとうございます。今後のスケジュール、それから7区の区民会議の

情報交換会ですね。何かご意見はございますか。

田邊委員 その他の件でいいですか。

永野委員長 はい。

田邊委員 私のほうの認識不足かもわからないのですが、きょう5時40分ごろ来たときに、区民会議を開催しているという看板といいますか案内がないんですね。向丘のときには、あそこのところがありました。ただ、こちらのほうでやる場合に、例えばお昼ごろからそれを書いてあれば、ああ、きょうやるんだなということで、こちらのほうにお見えになる方もいらっしゃるのではないかと思います。もしできましたら、そんなにお金のかかることではないと思いますので、お願いできたらと思います。

事務局（田邊） はい、承知しました。

永野委員長 最後になりましたけれども、もう一度再確認します。時間がないので、再来週、2月21日、まちづくり広場に区民会議としても参加することを各部会で決めました。そして委員会のほうに申し込みました。それはポスターセッションというところです。区民会議として模造紙1枚のポスターを張って、その前でチラシを配ったりアンケートをとったりすることができるということです。その申し込みをしました。それで朝10時から説明要員を出してくれということなんですね。2つの各部会から3人かそのぐらい交代でできるような形をお願いします。

この区民会議の委員の松井さん、河井さん、高木さんはほかの部門のところ、オープニングのパネルディスカッション、グリーンフォーラムに出なければなりませんので、特に宝さがし部会については部会長がそこへ出て午前中だけしか出られませんので、だれか人数を見てください。

そして模造紙1枚のポスターを張らなければいけないのですが、今できているアンケートのポスターをうまく拡大してやればいかなと思います。事務局のほうでできますか。前日までに地域振興課のほうへ届けていただければ張り出しはやってくれるということです。もしも間に合わなければ、当日の朝、自分たちで張ってくれということ。

事務局（田邊） 当日、事務局も当然一緒に参加させていただく予定になっておりますので、間に合わせるように頑張ります。

永野委員長 2月21日はそういう形で参加します。その前で先ほどのアンケートも配ることはできます。それと参加できるところがあともう一つ、ガリバーマップ。これは地図上に宮前の宝物とか自分が推薦する場所を書き込むことができる。そういうところへ皆さん出席してください。そしてオープニングのパネルディスカッションではパネラーとして高木さん、それからグリーンフォーラムのほうで松井さんが出席いたします。それから全体のお手伝いとして宇賀神さんにも受付をお願いしております。できるだけ皆さんに参加していただいて、各部会で人員の手配、確保をよろしく願いた

いと思います。

そのほか何かございますか。

事務局（中山） 事務連絡的になりますが、企画部会に所属している方は、この後、3月の部会の日程を決めさせていただきたいので、若干、3分、5分お残りいただければと思います。よろしく申し上げます。

永野委員長 では、残ってください。

それでは、そろそろ時間も来ましたので、この辺で本日予定されました議事を終了させていただきたいと思います。

ここで進行を事務局に戻したいと思います。

どうも皆さん、長時間ありがとうございました。（拍手）

司会（岩澤） 永野委員長、長時間にわたりましてありがとうございました。また、他の委員の方々におかれましてもご論議いただきましてまことにありがとうございます。

それでは、最後になりますけれども、閉会に当たりまして区長より一言ごあいさつを申し述べたいと思います。よろしく申し上げます。

区長 一言ということで、きょうは本当に冒頭に話をしましたように、真剣なという以上に貴重なご意見、あるいは事例報告をいただきました。特にマップの話とコンサルタントの問題はかなり鋭い、わき腹に刺さるような気持ちが若干しておりますが、そういうこともこの会議の価値でございますので、ぜひこれからもご意見をいただきたいと思います。

それともう一つ、地域防災については結構皆さん関心が高いのかなといったところです。我々も地域と横につながると言いながら、役所自身が横につながらないで縦割りというご意見がありましたが、こういうこともやはり反省しながら行政というものについて取り組んでいきたいと思っております。役所がやりやすい仕事をやるのではなくて、地域が何を望んでいて、役所はちょっとやりづらけれども、皆さんが望むほうをやるべきであって、一番いいのはやりやすく望むほうなんですけれども、そこら辺のバランスが予算案でもあろうかと思えます。役所がやりやすいようなマップ——これは悪いわけではないのですよ。もちろんいろんな多様なものをつくることが見やすいということもあるし、一覧性がいいのかということを実際に考えないと、おっしゃるように無駄な支出等になってくるのかなということでございます。

あとはアンケートのとり方の議論。決まった、ここにいる方たちの組織だけではなくて、もう少しそこに入っていない人に対しての配慮が欲しいのかなということも久保さんから、きょう初めての会議なんですけれども、違う人が入ってみると違う視点で切り込んでくるといった部分がございますので、きょうはかなりシビアなご意見をいただきましてありがとうございました。

コメントにならなくてちょっといけないのですけれども、どうもありがとうございました。

ました。

司会（岩澤） ありがとうございます。区長のほうから本音の言葉が出たという中で閉会になるわけでございますけれども、これをもちまして第4回宮前区区民会議を閉会させていただきます。

次回の予定は、本日の議事にもありましたが、5月を予定しております。なお、永野委員長からもお話がございましたように、3月15日日曜日の区民フォーラム、皆さんと事務局が一体となって盛り上げていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

本日はどうもありがとうございました。（拍手）

午後8時26分閉会